

社会貢献活動

すこやかラダ大作戦

当社は、東日本大震災復興支援活動として、東北3県（福島県、宮城県、岩手県）の社会的課題の一つである小児肥満改善をはじめ、次世代を担う子どもたちの健康の推進と心身ともにすこやかな成長を応援する目的で、2015年より「すこやかラダ大作戦」を開始しました。

プロジェクト5年目となる2018年度は宮城県東松島市において実施し、2019年3月30日に開催したキックオフイベントでは、トップアスリートと一緒に3つのスポーツを体験するとともに、生活習慣病の専門医による健康に関するセミナー、地元食材を使った炊き出しの食育プログラム等を行いました。4月～6月に行った4回にわたる事後プログラムでは、さまざまなスポーツの体験を通じて、運動の習慣化につなげました。

本プロジェクトは特定非営利活動法人スポーツ・コミュニティ・アンド・インテリジェンス「SCIX」とともに実施しており、当社はこれからも東北3県の次世代を担う子どもの健康の推進に貢献していきたいと考えています。

■ 実施実績

開催年度	開催地	参加人数：延べ
2014年度	福島県大沼郡会津美里町	233名
2015年度	宮城県石巻市	381名
2016年度	岩手県大船渡市	207名
2017年度	福島県相馬市	131名
2018年度	宮城県東松島市	287名

キックオフイベントの様子



事後プログラムの様子



第1回 運動の基本（走る・跳ぶ・投げる）



第2回 リレーパトンパスと長距離走



第3回 パラ競技体験（ブラインドサッカー）



第4回 スペースボール体験

ONO SWITCHプロジェクト

当社では、働き方改革と社会貢献活動の両方を推進させるための取り組みとして、2018年8月よりONO SWITCHプロジェクトを開始しました。本取り組みは、働き方改革の推進により削減した時間外手当に応じた金額を医療に関係するNPO・NGOに寄付する取り組みです。

以下のサイトで詳しく紹介しています。

＜医療アクセス改善の取り組み

[詳しくはこちら ▶](#)

認定NPOジャパンハートとのパートナーシップによる取り組み：カンボジアにおける一次救命措置トレーニングの様子



こども医療センター一次救命措置



ボンネル病院一次救命措置

医学の発展のための取り組み

いまだ満たされていない医療ニーズにお応えし、医学の発展に貢献できるよう取り組んでいます。1988年には、当社からの寄付を基金として、公益財団法人小野医学研究財団が設立されました。本財団は、脂質代謝異常の分野に関する研究助成を行うほか、各種事業を通じて、当分野の治療や研究の振興を図り、もって国民の健康と福祉に貢献することを目的としています。発足以来毎年、研究助成および研究奨励助成を行っており、2018年度には、早石修記念賞1名、研究助成対象者12名、研究奨励助成対象者（満40歳以下）16名が、それぞれ選ばれました。

また、2017年度は、がんや糖尿病、神経疾患、骨運動器疾患など高齢化に伴い患者数の急激な増加が懸念されている疾患領域を中心に、全国で約40の寄付講座を開設あるいは継続しました。さらに、生化学に関わる生命科学全般の研究に意欲的な研究者の海外留学のための公益社団法人日本生化学会の新事業「早石修記念海外留学助成」に対し、2017年度から10年間にわたる支援を行っており、2019年3月には、8名の研究者の方への支援が採択されました。

人々の健康を支援する活動

患者さんやそのご家族をはじめとして、広く人々の健康に資するためのさまざまな活動に取り組んでいます。

疾患啓発や正しい情報の発信を目的として開催される疾病関連の市民公開セミナーへの協力のほか、当社は2014年度から、CSR活動の一環としてリレー・フォー・ライフに参加しています。リレー・フォー・ライフは、日本対がん協会とリレー・フォー・ライフの全国実行委員会が実施しているチャリティ活動であり、がん向き合い、がん征圧を目的として、実施されているものです。当社の研究所や工場、営業所がある開催場所を中心に、積極的に参加しています。

認知症領域では、当社のMR全員が「認知症サポーター養成講座」を受講し、認知症の方やそのご家族が安心して暮らすためにできることを学び、実践しています。また、認知症啓発ショートムービー「[バアちゃんの世界](#)」を制作し、当社コーポレートサイト上で公開しています。さらに、認知症の方やそのご家族の喜び、医療従事者の方々の充実感につなげることを目的に、医療施設などにおいて認知症の方が制作された絵画や書道などの作品をWEB上で紹介する「[ふれあいつながる作品展](#)」を継続的に実施しています。2018年度の第10回作品展では、全国から428作品が応募され、1作品ずつ審査委員による手書きコメントや表彰状をお送りしました。

東日本大震災復興支援活動として、被災地の社会的課題の一つである小児肥満に対して、トップアスリートや生活習慣病の専門医と連携し、スポーツを通じて食事や生活習慣について子どもたちと保護者が考えるきっかけ作りの取り組み「すこやかラダ大作戦」を、2015年3月の福島県会津美里町、2016年3月の宮城県石巻市、2017年4月の岩手県大船渡市2018年3月の福島県相馬市に続き、2019年3月に宮城県東松島市で開催しました。すこやかラダ大作戦の詳細は[こちら](#)からご覧いただけます。

今後も、人々の健康の一助になるさまざまな活動に、継続的に取り組んでいきます。

子どもたちの教育のための取り組み

未来を担う子どもたちの育成の支援につながる活動に積極的に取り組んでいます。継続的に実施している認知症をテーマとした出張授業（中学生・高校生対象）は、当社が制作した認知症啓発ショートムービー「バアちゃんの世界」の視聴と、専門医を講師とした講義を通し、認知症を身近なことから捉え、正しい知識を持っていただくことを目的とした取り組みです。2014年5月の開始から回数を重ね、2019年3月末までに累計2,000名以上の中高生に参加していただきました。

また、2017年度に引き続き2018年度も、薬をテーマとして理科学習への関心の向上を図ることを目的に、当社の研究員が講師となって島本町立第三小学校6年生（水無瀬研究所所在地）を対象とした出張授業や、水環境を中心に地球環境について自ら考えることを目的とした体験学習『水のふしぎ探検隊part4』（フジヤマ工場周辺自治体主催／小学生対象）への協賛を行いました。劇団四季／一般財団法人舞台芸術センターが主催する「こころの劇場」関西公演への協賛をしています。「こころの劇場」は、生命の大切さ、人を思いやる心、信じあう喜びなど、人が生きていく上で最も大切なものを、舞台を通じて子どもたちの心に語りかけることを目的に、日本全国の子どもたち（主に小学6年生）を無料で劇場に招待し、演劇の感動を届けるプロジェクトです。当社は、このような理念に賛同し、活動をサポートしています。

また、子どもたちの活字離れを食い止めることを目的としたプロジェクト「こども本の森 中之島（仮称）」への寄付を実施しました。「こども本の森 中之島（仮称）」は、建築家の安藤忠雄氏が設計する図書館を中之島公園に建設し、本や芸術文化を通じて子どもたちに豊かな創造力を養ってもらうための取り組みです。



理科の出張授業



劇団四季ファミリーミュージカル
『魔法をすてたマジョリン』
撮影：荒井 健氏/



『水のふしぎ探検隊part4』

地域社会とのかかわり

企業市民として、各事業所で、清掃活動や防災活動、自然保護活動をはじめとするさまざまな地域社会貢献活動に取り組んでいます。

生産部門の取り組み

フジヤマ工場では、地域環境に配慮した活動として、2018年7月に富士山5合目付近の清掃、2019年3月に工場隣接区域の清掃を行いました。これは、富士山周辺の自然に対する関心を高め、地球環境保全について自ら考えることを目的とした取り組みです。

また、富士宮市各自治会の清掃活動「ごみ一掃作戦」で使用するゴミ袋を提供しました。

城東工場では、大阪市主催の大阪マラソン“クリーンUP”作戦の行事の一環として、2018年11月に工場の外周、隣接小学校の外周や公園等の清掃に参加しました。

また、同月に東成自衛消防協議会の技術競技会の消火器による通報・初期消火訓練の部と、消火栓ポンプからのホース筒先搬送・放水訓練の部に参加し、東成消防署の指導の下、実際の火災に備えた訓練を行いました。

また、毎月第2水曜日に障がい者の自立を支援する作業所で手作りされたパンとクッキーの販売会を行っています。

今後も、こうした地域に密着した有益な活動に積極的に参加を予定しています。



富士山5合目付近での清掃



大阪マラソン“クリーンUP”作戦

研究部門の取り組み

水無瀬研究所では、全国名水百選に選ばれている名水を守るため「離宮の水」保存会に加入し、年2回の一斉清掃に参加しました。また、地域住民の防火意識の高揚を目的に11月に行われている島本町防火まつりへの参加や1月の第2日曜日に実施される島本町消防出初式に自衛消防隊として参加し、消火訓練を行いました。

福井研究所では、定期的に研究所の外周付近に捨てられているゴミ回収等の清掃を行い、防火意識の高揚および消火技術向上の一環として毎年実施される自衛消防操法大会に当社自衛消防隊も参加し、消火訓練を実施しました。また、研究所内の体育館とテニスコートを地域にお住まいの方々に開放し、交流の場所としてご利用いただいています。

筑波研究所では、研究所周囲のポイ捨てゴミを定期的に拾い、美観を保つよう努めています。

その他部門の取り組み

本社では、毎月第4水曜日に、障がい者の自立を支援する作業所で手作りされたパンとクッキーの販売会を行っています。

エコキャップ活動

本社および水無瀬研究所では2014年、福井および筑波研究所では2018年からエコキャップ活動に参加し、自動販売機付近にペットボトルキャップ専用のゴミ箱を設置しています。

ペットボトルのキャップを一般ゴミとして捨てるのではなく、キャップのリサイクル活動を通じて、途上国の子どもたちのワクチン代としての寄付や震災復興支援に使われています。



ペットボトルキャップ専用のゴミ箱

献血への取り組み

当社では、本社をはじめ各研究所、各工場において、日本赤十字社の献血活動に積極的に協力しています。

関係会社との協同による地域貢献

水無瀬研究所が所在する大阪府三島郡島本町の4つの小学校、5つの幼稚園・保育所および城東工場に隣接する小学校に6月4日～10日の「歯と口の健康週間」にあわせて「虫歯の無い世界へ」少しでもお手伝いしたいとの想いを込めて、当社関係会社(株)ビーブランド・メディコーデンタル社製品の歯磨きセット3,300セット、歯ブラシ400本を寄贈しています。地域と企業が共存し持続的に発展するサステナビリティの観点から、毎年恒例の活動として行っているものです。